

紀州の歴史・文化を学ぶ特別講座が満載

# 大人大学一日講座

## 受講生募集中

9月25日(日)から30日(金)まで「紀州和歌山・大人大学」を開講します。現在一日講座の受講生を募集中です。

今年で3年目を迎えるこの事業は、和歌山リビング新聞社と和歌山大学、紀陽銀行が事業連携協力を図り実施するもので、「知の交流をキーワード」と南方熊楠、雑賀(さい)つとどのような自然保護

「ドにした地域活性化」をテーマにした滞在・交流型の講座です。和歌山大学のキャンパスを中心に実施します。

大人大学では、和歌山大学ほか、地域に精通した研究者たちによる郷土色豊かな講義が魅力です。さらに今回は、熊野神社で雄大な自然に恵まれた熊野。南方熊楠によつてのよう自然保護

か惣国と鈴木孫一など、紀州の偉人と地域との関わりについての興味深い講義もあります。

日帰りフィールドワークでは和歌山の浦の干潟の美しい景観はもちろんのこと干潟生物の多様性の高さについて学ぶことができます。

また、和歌山大学は今年国内最大級のバラボラ

アンテナを設置し、全国の大学なかでも宇宙研究についてリードしています。

今回の大人大学の講義では特別にデジタルドーム体験ができる講座もあります。今まで知らなかった和歌山に出合える大人大学にぜひ参加してみませんか。

【申し込み込み・問い合わせ】  
大人大学推進協議会事務局  
☎073(428)0281  
受付は平日10時～午後6時、土、日、祝日休み  
www.living-web.net/otona

月日	講義名・講師	講義内容	受講料
① 9月25日(日) 14:50~16:20	「紀州を訪れた万葉の歌人」 和歌山大学 教育学部 教授 菊川 恵三	都が奈良盆地に置かれた時代、紀ノ川を下るルートで紀伊国を訪問しました。豊かに流れる川を下れば、青い海と白い波、そして陽光。万葉の旅人が見た風景を体感しながら、秀歌を鑑賞してみたいと思います。そこには、単に風景賞美だけでなく、政治的陰謀も見え隠れするのです。有間皇子と中大兄、山部赤人と聖武天皇を中心に進めていきます。	3000円
② 9月26日(月) 9:00~17:00 (予定)	熊野1日フィールドワーク 「誰も知らない裏熊野 熊楠も愛した「怪し」の熊野」 和歌山大学 システム工学部 環境システム学科 教授 中島 敦司	熊野の神秘的な自然は、温暖多雨な気候と、人々が自然と上手につきあってきたことと関係が深い。本フィールドワークでは、「妖怪」「伝承」をキーワードに、南方熊楠によって「自然保護」が日本で最初に提唱された熊野の暖帯雨林がもたらした特徴ある自然と人々の営みについて和歌山市から熊野古道の地、中辺路に向けてバスで移動しながら解説する。「果てがない」と言われる山並みの連続は、熊野ならではの風景。神秘的な自然、雄大な風景は、参加者の心を打つことに違いないだろう。	8000円 ※昼食付き
③ 9月27日(火) 9:10~10:40	「雑賀惣国と鈴木孫一」 和歌山大学 経済学部 教授 海津 一朗	中世の紀伊半島の人々が日本列島の各地とつながり、歴史の節目で重要な役割を果たしたことはよく知られている。最近、異国人たちが戦国紀州雑賀と日高と熊野を「I dos ladrois」と呼んでいる事が判明した。Iadrois(ラドロイス)とは何か?知られざる世界の中の紀州惣国にご案内したい。	3000円
④ 9月27日(火) 10:50~12:20	「紀州和歌山と和菓子文化」 和歌山大学 経済学部 准教授 鈴木 裕範	和菓子は、花鳥風月を色や形にする。日本人の美意識がみられるのが和菓子である。社寺や祭り、年中行事、暮らしの中から生まれた菓子もある。日本の文化であり、地域文化が和菓子である。では、紀州徳川家の城下町、高野・熊野を有する和歌山の和菓子文化は、どのような特色をもっているか。甘い世界を訪ね、和菓子文化を地域資源として再評価し、まちづくりに活かす可能性を考える。	3000円
⑤ 9月27日(火) 13:10~16:00 (予定)	和歌の浦フィールドワーク 「和歌の浦干潟」 和歌山大学 教育学部 教授 古賀 庸憲	その優れた景観から万葉の御世より歌に詠まれた和歌の浦干潟であるが、景観だけでなく干潟生物の多様性の高さにおいても卓抜している。他の干潟では絶滅した種類が、和歌の浦干潟には多数種生息している。干潟はそこに住む生き物の生の営みによって、その価値をより高めている。本講義ではそれらの生き様を中心に紹介する(食う、食われるの関係、摂食行動、求愛行動など)。生き物たちが如何に人間と同じように生活しているかを理解し、その存在を身近に感じてもらえれば幸いです。	3000円
⑥ 9月28日(水) 9:10~10:40 10:50~12:20 13:10~14:40 14:50~16:20	⑥-1 「和歌山から宇宙へI~宇宙に飛び出そう」 ⑥-2 「和歌山から宇宙へII~私たちも宇宙人?」 ⑥-3 「和歌山から宇宙へIII~デジタルドーム体験」 ⑥-4 「和歌山から宇宙へIV ~身の回りの天文学」 和歌山大学 観光学部 教授 尾久土 正己	宇宙ステーションで活躍する日本人宇宙飛行士や小惑星探査機はやぶさの地球帰還など、宇宙のニュースは私たちに元気にしてくれます。しかし、皆さんにとっての宇宙はまだまだ遠い別世界のようなイメージが強いのではないのでしょうか?とところが、皆さんが暮らしているこの世界も宇宙の中なのです。 私たちの暮らすこの地球から宇宙を考え、宇宙から逆に地球を振り返ることで、いつもとは違う地球が見えてくるはずです。そんな体験を和歌山ではじめましょう。講義だけでなく、最先端のデジタルドームシアターや大口径の電波望遠鏡も使って宇宙を身近に感じてもらいます。	3000円 ※4講座全て受講の場合は10,000円